



埼玉県マスコット「コバトン」

第8回

埼玉農業大賞表彰式

と き：平成29年11月11日(土)

ところ：所沢航空記念公園

Saitama Agricultural Awards

—埼玉県—



所沢のさといも

目 次

1	埼玉農業大賞について	1
2	選考経過報告	2
3	埼玉農業大賞受賞者	3
4	埼玉農業大賞 農業ベンチャー部門受賞者紹介	4
	有限会社 早川農場	5
	株式会社 関田農園	6
5	埼玉農業大賞 地域貢献部門受賞者紹介	7
	農事組合法人 小原営農	8
	所沢市4Hクラブ	9
	松本 重子	10



本日、第8回埼玉農業大賞を受賞された皆様に心からお祝いを申し上げます。

埼玉農業大賞は、革新的な農業経営や新規性、独創性のある技術に取り組み、今後大きく飛躍が見込まれる方、また、地域農業の振興や活性化に優れた功績を上げられた方の功績を称えるとともに、そのビジネスモデルを広く発信し、本県農業を持続的に発展させていくことを目的にしています。

このたび受賞された皆様の農業に懸ける思いと不断の努力に対し、深く敬意を表します。

今後とも、優れた技術力や経営能力を存分に発揮し、引き続き埼玉農業の発展に格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、農業の発展には「労働」、「資本」、「技術」の3つが重要と言われています。本県の農業は、優れた担い手、肥沃な農地、先進的な技術の3つの要件を備えています。さらに、大消費地である首都圏に位置し、ヒトとモノが容易に移動できる交通の要衝であり、多数の食品関連企業が立地するという大きな強みを持っています。

こうした強みを生かし、本県では農業産出額が全国第5位の花き、第7位の野菜をはじめ、米、麦、果実、畜産など多彩な農畜産物が生産されています。県内で農業経営を志す新規就農者や農業参入企業は年々増加しており、また、近年では農畜産物を自ら加工・販売する農業の6次産業化が盛んに行われるなど、埼玉の農業には伸びしろがあります。

一方で、農業が抱える課題として「稼ぐ力」を強化する必要があります。そこで、県では、食品、医薬品などメーカーの需要にあった農産物を生産する「オーダーメイド型産地づくり」や県産農産物のブランド化を推進しています。また、今年度からは経営ノウハウを学ぶ埼玉農業経営塾も開設しました。私は、埼玉農業が更に元気になり、生産者の皆様の頑張りが所得の増大に結びつくよう全力で取り組んでまいります。

結びに、本日受賞された皆様の今後ますますの御活躍を祈念するとともに、本事業に御協力いただいた皆様に心からお礼を申し上げます。

平成29年11月11日

埼玉県知事 上田清司

1 埼玉農業大賞について

(1) 趣旨

埼玉農業大賞は、革新的な農業経営に取り組む方や、新規性、独創性のある技術を持ち今後大きく飛躍が見込まれる方、地域農業の振興に優れた功績を上げている方に、知事の表彰状を贈り、その成果を称え広く紹介することによって、本県農業の持続的な発展に資するものです。

(2) 表彰

賞の対象は、県内で意欲的に農業を営む個人・法人又は団体とし、埼玉農業大賞に、農業ベンチャー部門および地域貢献部門を設けています。

表彰は、農業ベンチャー部門および地域貢献部門で、最も優秀な者それぞれ1点を大賞とし、また、大賞に次ぐ優秀な者それぞれ原則1点を優秀賞として賞します。

(3) 主催

埼玉県

(4) 後援

埼玉県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会埼玉県本部
埼玉県信用農業協同組合連合会、埼玉県農業共済組合
一般社団法人埼玉県農業会議、公益社団法人埼玉県農林公社
一般社団法人埼玉県畜産会

(5) 特別協賛

J Aグループさいたま
株式会社協同商事コエドブルワリー、株式会社ひびき
弓削多醤油株式会社、お菓子な郷推進協議会

2 選考経過報告

(1) 募集

農林振興センター、市町村等の長に対し、平成29年8月3日（木）から平成29年8月31日（木）までの間、埼玉農業大賞の募集を実施した結果、農業ベンチャー部門6点、地域貢献部門10点の推薦がありました。

(2) 選考

埼玉農業大賞表彰要綱第5条第2項の規定に基づき、埼玉農業大賞選考委員会を組織し、次のとおり選考委員会を開催しました。

ア 埼玉農業大賞選考委員会幹事会の開催

平成29年10月12日（木）、埼玉会館3A会議室において、埼玉農業大賞選考委員会幹事会を開催し、予備選考を実施しました。

イ 埼玉農業大賞選考委員会の開催

平成29年10月17日（火）、埼玉会館5A会議室において、埼玉農業大賞選考委員会を開催し、農業ベンチャー部門・地域貢献部門で大賞及び優秀賞の選考を実施しました。

埼玉農業大賞選考委員会

役 職	氏 名	備 考
委員長	西崎 泉	学識経験者
副委員長	小池 和明	埼玉県農業協同組合中央会常務理事
委 員	江口 幸治	埼玉大学大学院人文社会科学研究所准教授
委 員	近藤美恵子	中小企業診断士
委 員	錦織 秀一	(株)日本政策金融公庫さいたま支店農林水産事業統括

(3) 選考結果

推薦されました事例はいずれも革新的な農業経営に取り組み、また、地域農業の振興や活性化に優れた活動を行うものであり、選考は難航しました。

選考の結果、埼玉農業大賞農業ベンチャー部門の大賞として1法人、優秀賞として1法人、地域貢献部門の大賞として1法人、優秀賞として1団体と1個人を第8回埼玉農業大賞受賞者といたしました。

3 埼玉農業大賞受賞者

(1) 農業ベンチャー部門

敬称略

区分	受賞者名
大賞	<small>ゆうげんがいしゃ</small> 有限会社 <small>はやかわのうじょう</small> 早川農場 (加須市)
優秀賞	<small>かぶしきがいしゃ</small> 株式会社 <small>せきたのうえん</small> 関田農園 (春日部市)

(2) 地域貢献部門

敬称略

区分	受賞者名
大賞	<small>のうじくみあいほうじん</small> 農事組合法人 <small>おはらえいのう</small> 小原宮農 (熊谷市)
優秀賞	<small>ところざわし</small> 所沢市4Hクラブ (所沢市)
	<small>まつもと</small> 松本 <small>しげこ</small> 重子 (神川町)

4 埼玉農業大賞

農業ベンチャー部門

受賞者紹介

農業ベンチャー部門 大賞

ゆうげんがいしゃ 有限会社
はやかわのうじょう 早川農場

1 経営概要

- (1) 所在地 加須市
- (2) 代表者名 代表取締役社長 はやかわ はつお 早川 初男
専務取締役 よしちか 早川 良史
- (3) 経営内容 水稲57ha、小麦13ha等

2 受賞理由

- (1) ほ場管理ソフトの活用や、農業機械の効率的な利用等により、儲かる主穀作経営を実践している。
- (2) 生産した米は「こいのぼり^{ふるさとまい}古里米」(商標登録)としてブランド化するとともに、輸出を視野に入れた国際商談会に参加するなど、精力的な活動をしている。
- (3) 専務取締役の良史氏は、自身を含めた市内の若手農業者21人と「ヤング農マンKAZO」を結成し、農業や農産物の魅力を広く情報発信している。



有限会社早川農場の皆さん
(前列右が早川良史氏)



自社商品「こいのぼり古里米」と
国際商談会でのポスター

農業ベンチャー部門 優秀賞

かぶしきがいしゃ せきたのうえん
株式会社 関田農園

1 経営概要

- (1) 所在地 春日部市
- (2) 代表者名 代表取締役 せきた 関田 ただゆき 忠行
取締役 じゅんいち 関田 淳市
- (3) 経営内容 ねぎ16ha等

2 受賞理由

- (1) 経営を担っている取締役の淳市氏は平成22年にUターン就農し、5aで始めたねぎ栽培が平成28年までの7年間で約3.2倍(16ha)に拡大した。
- (2) 周年供給を実現するための機械設備や雇用体制の整備等を目的に、平成26年に法人化した。
- (3) ほ場ごとの土壌分析を基に、適した品種や作型、施肥を実施し、安定した品質・収量を確保している。



株式会社関田農園の皆さん
(後列1番左が関田忠行氏、
前列中央が関田淳市氏)



ねぎ畑でほほ笑む関田淳市氏(1番左)
と従業員の皆さん

5 埼玉農業大賞 地域貢献部門 受賞者紹介

地域貢献部門 大賞

のうじくみあいほうじん おはらえいのう
農事組合法人 小原営農

1 経営概要

- (1) 所在地 熊谷市
- (2) 代表者名 代表理事 きむら 木村 すすむ 進
- (3) 構成員 87人

2 受賞理由

- (1) 当初85人の農家が設立した法人で、経営面積60haで水稲、小麦、大豆、キャベツを栽培し、効率的な土地活用を行っている。
- (2) 農地中間管理事業を活用し、ほ場の集積や団地化することで、省力かつ低コスト栽培を実現している。
- (3) NPO法人やホテルと連携し、「ため池・棚田の親子米作り体験」の指導を通じて、消費者交流を行っている。



農事組合法人 小原営農の皆さん
(右から4番目が木村代表理事)



共同作業での水稲育苗

地域貢献部門 優秀賞

ところざわし 所沢市4Hクラブ

1 経営概要

- (1) 所在地 所沢市
- (2) 代表者名 会長 野沢^{のざわ} 崇浩^{たかひろ}
- (3) 構成員 19人

2 受賞理由

- (1) 20代の若手農業者が、農業技術・経営の向上や地域農業の振興を図るため、さといもや西洋野菜等の栽培技術の向上や、市内の商工業者と連携した商品を開発・PRしている。
- (2) 若手農業者の代表として、市や観光協会等に農業の活性化策等を提案している。
- (3) 活動の成果は、埼玉県青年農業者研究大会や全国青年農業者会議プロジェクト発表等において上位入賞するなど、モデル的な活動となっている。



クラブ員と藤本所沢市長
(1番右が野沢会長)



市の農業祭で農産物を販売

地域貢献部門 優秀賞

まつもと しげこ
松本 重子

1 経営概要

- (1) 所在地 神川町
- (2) 経営内容 水稲2.5ha、はくさい1ha、切花等0.6ha

2 受賞理由

- (1) 息子夫婦に経営移譲し、新たに遊休農地を借り受け露地野菜を栽培するほか農産加工事業に着手し、直売所の活性化に大きく寄与した。
- (2) 地域の高齢者サロンへの配食サービスを毎月実施しているほか、公民館等でのキムチ作り講習会を年間20回以上行っている。
- (3) 平成14年、町内初の女性農業委員となり、平成20年「児玉郡市女性農業委員連絡会」の設立に寄与するほか、女性農業者の活動支援など地域の活性化に大きく貢献している。



直売所兼食堂「五郎まる」の皆さん
(前列左から2番目が松本重子氏)



直売所に出荷する切花を生産

COEDO
coedobrewery.com

Beer Beautiful



New!

淡い黄金色と純白の泡にシトラスを想わせるアロマホップが華やかに香るセッション・IPA「毬花-Marihana-」

小江戸川越・埼玉
アンテナダイニング
黒豚劇場

地元食材のご提案をお待ちしております。

やきトン
しゃぶしゃぶ
彩の地酒

黒豚劇場
ひびき川越店
☎ 049-226-8899

埼玉県川越市船田町17-4
ファミリーマート2F
JR川越線川越駅 東口 徒歩3分
17:00~24:00(L.O.23:00)
定休日 不定休

HIBIKI FOOD SERVICE GROUP ☎ 0120-22-9646

埼玉県産大豆・小麦使用
ふるさと認証食品

三割多嚙油株式会社

醤油王国 日高市田波目804番地1
☎ 0120-417-059
本社 坂戸市多和田475番地
☎ 0120-87-0811

しょう油 王国

http://www.yugeta.com 工場見学受付中!

地産地消の菓子づくり
幻の芋、復活。

太白芋のお菓子
発売中!

秩父カエデ糖
モンドセレクション受賞
秩父カエデ糖使用のお菓子
発売中

秩父の恵み カエデ糖

すずね 太白つまいも 菓子になる

秩父の恵み カエデ糖

お菓子な郷推進協議会
〒368-0046 埼玉県秩父市宮側町1-7 ☎0494-25-0088 ☎0494-22-3384

よい食堂



笑味ちゃん
©みんなのよい食プロジェクト

JAグループ「みんなのよい食プロジェクト」

心と体を支える食の大切さ、国産・地元産の豊かさ、それを生み出す農業の価値を伝え、
国産・地元産と日本農業のファンづくりを進めています。



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ

「協同組合」は、2016年11月、ユネスコの「無形文化遺産」に登録されました。

JAグループ

<https://ja-group.jp/>

